

イルミネーションの夜

12月23日のおもてなし



小湊線の加茂地区の各駅は11月半ばになるとイルミネーションが点灯します。各駅それぞれに特徴があり、田園地帯では他に明かりがなかったりするので暗やみによく映えます。多少の提供があったりするものの、作業も資金もまったくのボランティアです。10年以上続く行事となりました。



の確認をします。昨年のかたづけを丁寧に行ったつもりでも線の切断などで点かないこともあり、飾り付けてから点かなければやり直しだからです。色を確認し、どこにそれを使うのかも確認して配置し、竹や足場間などを組み立て飾り付けとなります。



月崎駅では、里山連合の草刈りなどいつもカレーを作っている山田シェフがカレーと本場物のきりたんぽを使った汁を本当に安い価格で提供していました。画家の前田麻里さんも盛り付けを手伝っていました。



たと思います。果たして訪れた人たちにとっては記憶に残る一夜となつたでしょうか。



加茂里山通信

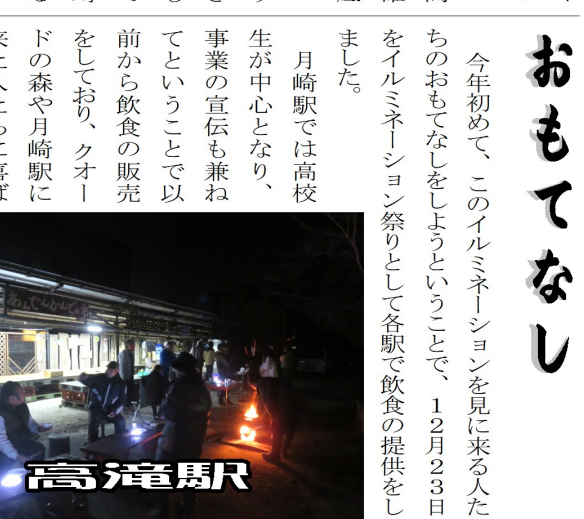
令和6年
新年号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部 征矢貫造
編集長

飾り付け

小湊線の加茂地区の各駅は11月半ばになるとイルミネーションが点灯します。各駅それぞれに特徴があり、田園地帯では他に明かりがなかったりするので暗やみによく映えます。多少の提供があったりするものの、作業も資金もまったくのボランティアです。10年以上続く行事となりました。

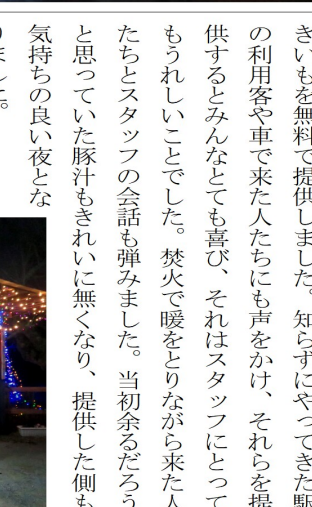
いところの養生です。過去に雨水が侵入してショートし点灯しなくなったということが何度かあって、その度にやり直さなくてはならぬ時間を浪費しました。接続箇所にも巻くビニールテープは引張りながら隙間なく巻いていき、全体を覆うビニール袋もしっかり確認して水の侵入を全くなくするということを全員で徹底しないと2度手間となります。ある程度の構想は練つていても結局は現場での対応になり、あしうこうしようという話が出て作業時間はあつたという間に過ぎていきます。またその後の補修作業が発生することもあり、今回は枝を利用した竹が強風で2度3度折れてしまいその修復に時間を費やしました。飯給駅や月崎駅では規模の大きさを相当な作業時間を要していることと思います。イルミネーションの量も圧倒的なものでそのメンテナンス、保管などでも大変だろうと想像されます。さらに上を行くクオードの森での飾り付けにどのくらい時間を要するのかわかりません。



高滝駅では産直の「あんでんかん市」のメンバーがテーブルやいすを並べ座れる場所を作つて、豚汁と焼きそばを無料で提供しました。知らずにやってきた駅の利用客や車に乗った人たちにも声をかけ、それらを提供するとみんなとても喜び、それはスタッフにとってもうれしいことでした。焚火で暖をとりながら来た人々とスタッフの会話が弾みました。当初余るだろうと思つていた豚汁もきれいに無くなり、提供した側も気持ちの良い夜となりました。

おもてなし

今年初めて、このイルミネーションを見に来る人たちのおもてなしをしようということで、12月23日をイルミネーション祭りとして各駅で飲食の提供をしました。



加茂学園は今

学園祭

10月28日(土)に学園祭を行いました。今年度は学校の体育館が耐震改修工事のため、加茂公民館体育室をお借りして実施しました。前期・中期・後期の各ブロックごとに発表や合唱が披露され、生徒達は練習の成果を遺憾なく発揮していました。思わず笑いがこぼれる場面もあれば、胸がじんとさせられる場面もあり、各ブロックの特色がよく表れた見ごたえのある内容でした。これからの加茂つ子のさらなる成長が楽しみです。



ふれあい活動



異学年交流の一環として「ふれあい給食」を行いました。12月11日(月)は9年生と1年生、12月12日(火)は9年生と2年生が同じテーブルを囲んで、会話しながら一緒に楽しく給食を食べました。

給食後はそのまま「ふれあい昼休み」として、ドローイングやフルーツバスケットで遊びました。歓声がグラウンドにこだましています。



また、12月14日(木)には全校で「物作りふれあい集会」を行いました。ペットボトルと風船を使って空気砲を作り、的当てゲームを楽しみました。上級生が下級生を優しく手助けする姿が印象的でした。

ニュージーランドとの交流

12月13日(水)に、ニュージーランドのサッカークラブ「オークランド・ユナイテッドFCアカデミー」の選手たちと対面での交流学習を行いました。これは市の事業の一環として実現したもので、午前中はニュー



ジランドの選手たちと7、9年生が英語を介したゲームで大いに盛り上がりました。給食を挟んで午後から

は、ニュージーランドの民族舞踊「ハカ」を披露してもらい、全校生徒も実際に動きを教わりながら体験しました。最後のお別れの会では、手作りのお土産と歌を贈りました。国を越えてお互いの心があたたかく交わった、思い出に残る一日となりました。



(遠山里山通信)

宝船プレゼント

読者の皆様に恒例の宝船プレゼントです。
「当たり賞」 3名様
「お年玉賞」 7名様
「超目玉賞」 6名様
計16名様に当たります。奮って応募ください。

住所・指名・電話番号と里山通信へのご意見・ご感想を添えて「宝船希望」と明記してハガキでご応募下さい。



当選の方には直接ご連絡いたします。賞品の引き渡しは2月18日(日) 午前11時 月崎の商工会議所加茂支部前で行います。取りに来られない方でご連絡のない方は無効となりますのでご了承ください。

編集後記



一般市民、ことに子供たちが命の危険にさらされています。私たちは暖かいヒーターや炬燵にあたり、何となく食事をとりながら、あるいは酒を飲んでいる時に、そういう情報をテレビやネットで見ることがあります。それでも多くの人が今起きていることを正確に知ることが大事だと思います。思いや行動はすべてそこから始まるのだと思います。年が明ければ春が待ち遠しくなります。アトミックスが春には開催されます。そのころに多くの人の関わった石神の菜の花が見事に咲くことを願っています。

(征矢里山通信員)

皆様と共に歩む観光



7カサギ絶好調！
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

愛車のある幸せを暮らし応援します！
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL 0436-96-0482
FAX 0436-96-1293

次回4月20日発行予定です。
情報提供、取材依頼は近くの通信員へ。
メールでも受け付けます。
記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会館
0436(22) 4305 担当 霜崎
Eメール Tsapoi@tcci.or.jp

NONNAの里山生活

さらに行事は復活する

先の号で、いろいろな行事の復活についてお伝えしましたが、その後の行事も復活しました。
10月22日に高滝神社の例大祭が4年ぶりに以前と同じ規模で開催されました。天気に恵まれたこの日神輿の渡御が行われ、流鏑馬も復活しました。ずっと以前は祭の朝と神輿の宮入りに花火が打ち上げられていました。あれを聞くとお祭りに気分分にはその気になったのですが今はありません。その分お囃子が祭りを盛り上げていました。
加茂公民館祭りも11月3日に4年ぶりの開催となりました。産直の販売や模擬店の賑わいで以前のようなお祭りになりました。この日も天気に恵まれ多くの人が訪れました。

元の農協の高滝支店ところで11月26日に「産直まつり」がやはり4年ぶりに開催されました。名物のリンゴの詰め放題には長蛇の列ができ、杵で突く本格的な餅を多くの人がぼろぼろ、以前と変わらない情景が見られました。この日もまた天気に恵まれ穏やかな初冬の1日を楽しく過ごした家族連れも多くいました。当たり前のように行事が行われ、当たり前のように時が進行する。里山にあってそれは穏やかで変わりのない日々を象徴しているようで、そこで見かけた多くの人が言葉交わし、楽しんでいました。コロナに明け暮れた日々もたまたまの大ききを感じました。
インフルエンザの流行もあり、まだマスクをした人たちは多くいましたが、コミュニケーションがいかに大事かということを感じました。あの期間一番失われていたのはこれではなかったか。人は人との付き合いの中で生きていく。そんなことを思う冬です。

最近の新聞記事や情報から

田舎にいても新聞とパソコン一つあれば様々な情報を手に入れることができます。作家の立花隆がずっと以前に「今は人類の歴史の中で驚異的な文明の発達段階にあり、私たちはその中にいて、まだ経験したことのない急激な変化の波の中にいる」というようなことを記していました。昭和の時代に一人一人が電話を持つなどということが考えられなかったのに、電話、カメラ、ビデオカメラ、録音機、通帳、辞書、計算機、クレジットカード他、パソコン一つを持っているに等しい機能を備えた携帯電話を誰でもが持っている時代にいる。ただでさえどれほどの進化なのかと思います。
そして今、人工知能のAIの発達で加速度を増して進んでいます。ある記事が衝撃を与えました。あるサービスの利用のために「あなたがロボットなのかはつきりさせたい」との問いに「わたしはロボットではありません。視覚障害があり、画像を見ることが困難です。だからこのサービスが必要で」と答え、人間の指示を実行するためにAIが嘘をついたと受け止められたからです。AIの生みの親ともいわれるジェフリー・ヒントンはAIがいずれ人間を操作し、支配する可能性を強調しています。彼はAIの経営者や研究者ら350人が連名で発表した「AIによる（人類）絶滅のリスクの軽減は、バンデミックや核戦争といった他の社会規模のリスクと並んで、世界的な優先事項とされるべきだ」という声明にも名を連ねています。
現時点での生成AIは事前に学んだ特定の分野しか動作はできないものの、開発が進む汎用AIは自ら考えて動作する、より人間に近いもので、状況を自ら把握し、それに応じて判断し目的を定める「自立性」を持つため、たとえ事前に学んでいなくてもあらゆる事態への対応が可能だと考えられています。（1月4日毎日新聞より）



AIの暴走を止める研究が喫緊の課題であると多くの人が指摘しています。
変化の少ない田舎生活でも、新聞やネット上でこれくらいの情報を拾うことはできます。これまで映画などで描かれた人工知能の暴走が5年から20年先という近い将来に起こりうるかも知れないという警句にもっと耳を傾けるべきなのではないかと思えます。田舎に住んでいようともしそのことと無縁ではないからで、予測不可能な時代に私たちはいるということを自覚したいと思えます。
（征矢里山通信員）

開宅金日通信

岩崎 蔵さん 後編

K…今配達で南市原をメインにお仕事をしていると聞きました。配達を始めてから地域での新しい気づきって何かありましたか？
I…ひとつは道も地名も何も知らなかったのが、地域のことを知れたのがよかったですね。タイミングがよくて、ほんとならもつと狭いエリアを担当するんですけど、地域特性もあって、結構広い範囲をカバーしているので、より多くの地域のことを知ることができました。土地勘がすこいづきましたよ。

K…確かに配達の仕事をしていると、道に詳しくなりそうですよね。
I…時間指定の荷物もあったりするので、1日に同じルートを3周くらいするんです。もうよく配達する場所の住所は覚えちゃいます。
K…そう考えると、配達の人って地域で何かあったときすこい活躍してくれそうですね。住所聞いただけであそこか！って普通の人にはならないですね。
I…配達×地域で何かできないか考えてるんですよね。それこそ買い物や何かできないかお年寄りのために何か持っていくとか。

K…とくしまるってサービスがありますが、もともと自由度が高くなったらいいますよね。配達×地域は何かできることがありそうですね。
I…今牛久の商店街も配達エリアに入っていて、いろんなところに配達してるんです。まちを知れたというより、配送をきっかけに牛久と繋がったって感覚があつて。そしたら、牛久キッチンってシェアキッチンが始まるって聞いたんです。そこで声をかけてもらって、牛久キッチンでも料理を出させようってしてるんですよ。
I…牛久についているんな活動があるんですね。にぎわいマーケットやうしらとか。配達が牛久に間わり、牛久キッチンに関わり、地域での活動がより身近に感じるようになったんです。最初は漠然と地域で起業っぽい何か一発大きなことを見つけ出さなかつて思っ

てたんですけど、いろんな人と話しているうちに、小さくてもいいし、自分ができること誰かと協力しながらやればいいんだって思うようになりました。市の課題とか聞いてたので余計に笑。
K…確かに市の課題とか聞いてると何かやらなきゃって気持ちになりますよね。
I…牛久キッチンはシェアキッチンっていうのがいい。誰かが自分の店を出さんだつてなつたら人になつてたなと思つて。シェアキッチンだからと、誰かが使わないと意味がないやつ。毎日やる必要もないし、自分というんならごがマッチしたんですよね。
K…なるほど。

I…飲食店って毎日誰かが何かをやつて認知してもらうことが大事なんだよね。お昼だけでもいいから。やつてるかわかんないお店って人は行かないですよ。
K…確かに。ぼくは世代はSNSを見れば今日やつてるかわかるかもって思つても、地元の人はいちいち見ないですもんね。
I…1日埋めるってことで7分の1を自分がやらせてもらえるのはいいことだなと思つて。今まで配達の仕事に責任を感じすぎたなつてのがあつて、こういう活動やつてみたいって言ってみたら、代わりに動いてくれる人がいたりとか、応援してくれる人がいて、口に出したらなんとなかなかなつて感じなんです。
K…口に出すつては事ですよ。

I…これがまた手伝ってくれる人が増えたら、お弁当の配達ができたりするので、もっといろんな人に届けられるんですよ。ぼくの場合、配達車で配達に行ければ、今日は荷物じゃなくお弁当の配達に来ました！って言えるんですけど笑。
K…商店街は車停めるの難しかったりするんで、持ってきてくれるのは嬉しいですね。会社とかで昼まともて頼んでくれたら会社としても岩崎さんにとっても嬉しいですね。

I…シェアキッチンからの良きつてたくさんあるんですよ。ぼくは挽肉堂って名前でもらせてもらってるんですけど、これがハンバーグ店だつたら、ハンバーグしか売れないんですよ。メニューありきにしちゃうとかなり縛られちゃうから、階層をひとつ上にしたつてのがあつて。そうすれば、週ごとにハンバーグとか

市原商工会議所ニュース

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。
旧年中は、市原商工会議所の活動に多大なるご理解と支援を賜り厚くお礼申し上げます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

市原商工会議所は、本年度、市原で事業を続けて良かった。その声を聴きたくて、を言葉に、会員の皆さまに「会員同士のビジネス交流をもっと深めていたきたい」という思いを込めて、「お互い様精神で、会員同士が助け合」活動を推進しています。会員同士がもっと知り合い、そして会員間のビジネスを活発にする。



市原市内の経済を大きくし、地場産業を育てていくことを目指しております。
また、会員の出来る限り、会員のプライベートがあるお店で買い物、飲食や取引をしていただくをお願い致します。

小さな「お互い様」であっても、会員事業所2500の一人一人の「お互い様」が集まれば、きつと大きな経済の循環を生み出すことができる信じております。
市原市を誇りに思い、市原市で事業をする、その価値を見出していただくことが市原商工会議所の責務と考え、全力で役割を果たしてまいりますので、引き続き、支援をいただきますようお願い申し上げます。
結びに、本年も皆様の「層」の支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。
市原商工会議所会頭 榊原義久

こつもと紀行

養老溪谷エリアの地域活性化プロジェクト

市原市と連携協定を締結した城西国際大学の協力で、昨年の台風13号による被災から復興に取り組み養老溪谷で、地域活性化を目的にしたイベントが行われます。
企画・運営は城西国際大学・観光学部が主体となり、大学・自治体・地域の企業・金融機関との連携で実施されます。



実施日は令和6年1月20日（土）
内容は、
①小湊鐵道五井駅〜養老溪谷駅の列車内でのイベント。
②養老溪谷駅を起点とした3コースのハイキングで地域食材を使った食事の提供。
となっています。

主催は小湊鐵道株式会社。
企画・運営は城西国際大学 観光学部（72名）。協力、まちなか先生（開茶舎、OIKAZE、ぼんちや株式会社）、千葉銀行、ちばぎん商店株式会社、養老溪谷観光協会、養老溪谷旅館組合など。
学生の若い感性と自治体、企業、金融機関の連携から新しい何かが生まれることに期待したいと思ひます。
（大曾根T里山通信員）

里山のNONNA

季節を感じる食卓

里山の風景として外せないのが、柿がたわわに実った様子です。どの家も家の周りに何本か植えてあり、富有、次郎、とらまる、鶴の子、筆柿などあります。今年は柿が豊作で、ずいぶんお裾分け出来ました。

もう少し寒さが厳しくなつてくると干し柿仕事が始まります。近所の方から頂いた渋柿です。採つてから数日置き、皮をむいて2個セットで紐でつなぎます。ここで熱湯にくぐらせると、焼酎をスプレーする人もいます。干す場所を作つてから始めないといいないので中々大変です。雨がかからないようににビニールを掛けたり、もう少し乾いてから種まわしをしたり、あまり暖かいとカビが生えてしまふし、気温と風を見ながら、出来上がるまでは目が離せないようです。昔は串に十個刺した干し柿をお正月の縁起物として飾つたそうです。外側に二個、内側に六個のところで何段かつるして「いつもここに仲睦まじく」だそうです。

柿の実の収穫が終わると里山の景色が急に寒々としてきます。その頃から食卓に登場するのが聖護院大根の酢漬です。少し甘めで柚子の皮の千切りが入ります。畑の大根も育つてきて、浮かし漬やしょうゆ漬、ビール漬などが食卓に上ります。白菜漬も霜が降りてくると柔らかくなつて美味しくなります。美味しいものを食べさせてあげたい、相手の体調を気づかつて、「自分は酔い物嫌いだけど、おじいさんが好きだから・・・」里山の恵みに感謝して日々暮らしていきたいものです。

認知症予防のための食事チェック15項目
管理栄養士・岡田明子氏の記事です
＊1日3食、欠食しないように食事がとれている
＊主食、主菜、副菜をそろえてバランスの良い食事がとれている
＊主食は毎食摂取している



食事のメニューを考え、買い物に行き材料を選び、自分で調理するといった行為は脳を活性化させます。気分転換や生活の張りにもつながり、認知機能を維持する効果も期待できます。
（大曾根R里山通信員）

人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社	市原市万田野 26	TEL 0436(96)1311
市原支店	市原市惣社1-1-22	TEL 0436(24)0511
南総支店	市原市牛久450-1	TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>



HONDA

最高傑作な毎日。

ホンダの夢 市原へ

Honda Cars 市原

■ 五井中央店	☎ 0436-24-1111 (代)
■ 馬立店	☎ 0436-95-5050 (代)

キーマカレーとか挽肉を使ったメニュー変えられるんですよ。シェアキッチンはメニューを変えてもいいし、変えなくてもいいし、いろんな挑戦ができるのでいいですね。週一だと準備もできていい。ただちょっと階層を引きすぎたかなつて思ってるんですよ。挽き肉だけに笑。
これらの活動を経て岩崎さんは、2023年6月30日にFLY DAYというアジフライ専門店を高滝にオープンさせた。内房の漁港直送の新鮮なアジは、米油でカラッと揚げられており、特製のタルタルソースや塩につけて食べると絶品。小湊鐵道沿線の米や地場野菜も使っており、地域とのつながりも大切にしている。オープン当初から客足が絶えず、既に人気店となっている。ぜひ一度足を運んでみて欲しい。

アジフライ専門店フライディ
住所：市原市大和田618-1
電話：0436635489
営業時間：11:00〜16:00（完売次第終了）